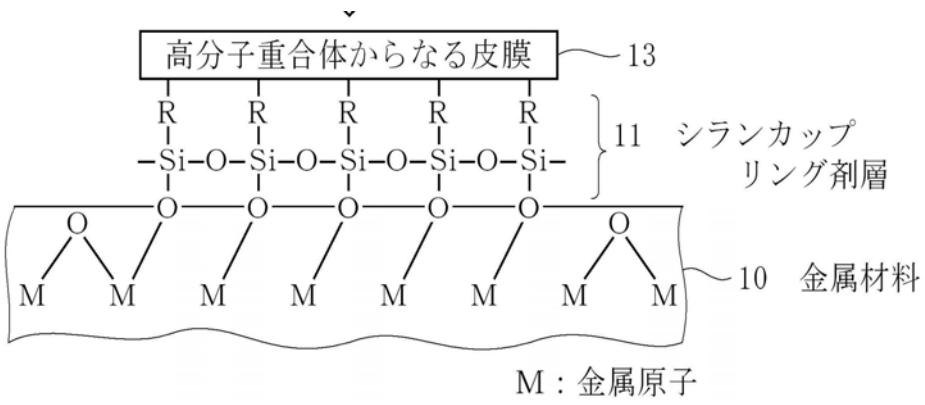
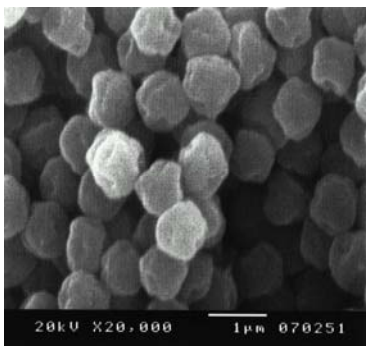
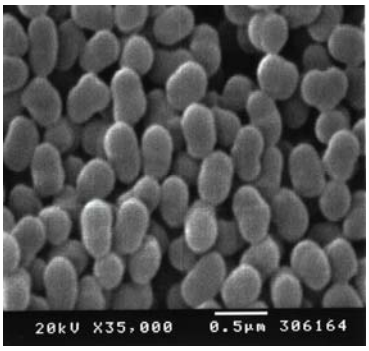
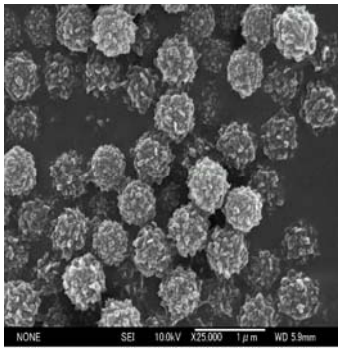
発明の名称	金属材料表面を高分子重合体で被覆する方法及び高分子重合体で被覆された金属材料（特許第 4284415 号）	
学内発明者	黒田　真一（理工学府）	
技術分野	金属被覆材料、耐食性材料	知財 5 号
発明の概要	平板や、複雑な形状に組み立て加工した後の金属材料であっても、金属材料表面に均一に高分子重合体の被膜を形成して金属材料に耐食性を与えることができる。	
説明図		本発明の金属材料表面を高分子重合体で被覆する工程。
ポイント	本発明は、組立加工した金属材料の表面を高分子重合体で被覆する方法及び高分子重合体で被覆された金属材料に関する。平板の金属材料は勿論のこと、複雑な形状に組立て加工した後の金属材料であっても、金属材料表面に均一に高分子重合体の皮膜を形成して金属材料に耐食性を与える方法を提供することにある。さらに、金属材料表面を高分子重合体で被覆した後の廃液の処理を簡便にする方法も提供できる。	

発明の名称	異形高分子微粒子の製造方法（特許第 4192245 号）	
学内発明者	黒田　真一（理工学府）　石　山（元 SVBL）	
技術分野	塗料、診断薬担体、分離カラム用充填材	IP16-022
発明の概要	比表面積が大きく、約 220℃になっても、或いは各種の有機溶媒に接触しても形状が容易に変形しない異形高分子微粒子を提供する。	
説明図	   【左図】異形高分子微粒子の走査型電子顕微鏡写真。 【中図】ダルマ状高分子微粒子の走査型電子顕微鏡写真。 【右図】金平糖状高分子微粒子の走査型電子顕微鏡写真。	
ポイント	本発明は、二つの工程を組み合わせることで、異なる表面をもつ粒子を形成させる技術である。種々の用途に対応する表面形態をもつ微粒子の製造技術として有用である。	